

工芸技術所における塗装関連支援

○林 保美*1)

1. はじめに

当所は、昭和12年に小田原市に誕生し、設立当初は小田原・箱根地方の木製品業界の育成技術支援を中心としてきた。その後県内一円の木製品、漆器製品など工芸産業全般に及んでいる。

現在の主な業務については図1のとおりである。

この業務の内、主に平成21年度の塗装関連に関する支援について報告する。

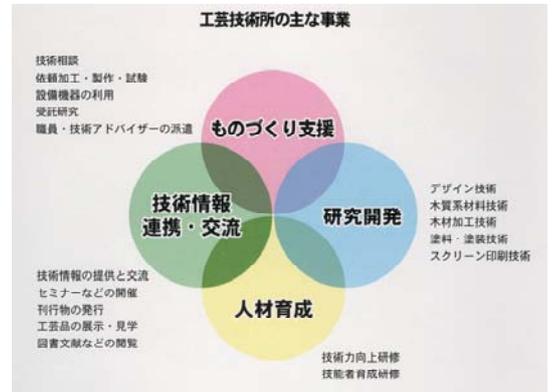


図1 主な事業について

2. 支援業務

①ものづくり支援

- ・ 技術相談
- ・ 依頼加工（塗装）・試験
- ・ 設備機器の利用（塗装設備）
- ・ 企業訪問による技術支援（アドバイザー派遣等）

②研究開発（担当経常研究テーマ）

- ・ H19～20年度・・・漆技法による加飾表現効果に関する研究
- ・ H21年度・・・未利用部材の有効活用に関する研究

③人材育成

- ・ 漆塗り技術研修
H19～21年度 伝統小田原漆器ろくろ研修生に対し実施。
- ・ ウレタン塗装技術研修
- ・ 短期間のものについては、技術相談で対応。

④技術情報・連携・交流

- ・ 産地情報セミナー（小田原地域、鎌倉地域（鎌倉彫業界を対象）にて実施）
 - 演題：「甲州印伝の今までの生き方、これからの生き方」
講師：株式会社印伝屋上原勇七 取締役総務部長 出澤 忠利氏
 - 演題：「漆芸用顔料の昨今と漆に関する質疑応答」
講師：日華化成有限会社 代表取締役社長 山本 修 氏
- ・ 技術フォーラム・研究会（漆工）等も年度によって開催。

⑤業務成果発表会

- （漆技法による加飾表現効果に関する研究）
- ・ ものづくり技術交流会（ベトナム漆器調査報告）

⑥その他（協力業務）

- ・ 伝統工芸士認定（鎌倉彫・小田原漆器）
- ・ 技能審査（鎌倉彫・箱根細工）

3. おわりに

当所は、木工芸品、漆工芸品、生活工芸品などの木工芸品関連産業の支援を中心に行ってきた。世の中の多様化が進み、公設試の役割も幅広くなった。

今後ともTKFを通じ、公設試間相互の情報共有や協力が大切だと痛感している。



図2 産地情報セミナー

*1) 神奈川県産業技術センター工芸技術所 工芸技術チーム